

企画展「江戸時代の須賀」関係史料集

●慶安元年 田畑之帳百間領分須賀新田（戸田家文書 No.252）

（表紙）

一 慶安元年

田畑之帳

子ノ九月十五日

百間領分

須賀新田

高三百石之割

一九拾壹石三斗五升八合

一九拾九石三斗八升壹合

一百九石式斗六升壹合

一上畑壹町壹反式畝八分

一中畑壹町九分

一下畑壹町九反五畝廿六分

一屋敷壹反四畝拾式分

一上畑八反壹畝廿九分

一中畑六反七畝六分

一下畑九反壹畝壹分

一屋敷壹反四畝八分

一上畑七反三畝拾九分

一中畑六反三畝式分

一下畑壹町三反拾九分

一屋敷壹反壹畝廿四分

一上畑五反三畝三分

一中畑五反三畝拾四分

一下畑六反八畝拾四分

一屋敷壹反四畝分

一上畑壹町七畝三分

一中畑四反六畝拾式分

一下畑六反四畝六分

一屋敷六畝八分

上畑合式町八畝式分

中畑合三町三反拾三分

下畑合五町五反七分

屋敷合六反廿式分

同人

同人

半右衛門

同人

同人

同人

一上畑七反式拾式分

一中畑九反四畝廿八分

一下畑壹町三反三畝拾式歩

下畑式反七畝式拾二分

一屋敷壹反分

一上畑五反四畝五分

一中畑壹町九反五分

一下畑九反三畝三分

一屋敷壹反壹畝分

一上畑五反七畝九分

一中畑壹町七畝廿三分

一下畑式反五分

一屋敷壹反式畝拾壹分

一上畑五反九畝拾六分

一中畑壹町四反五歩

一下畑四反八畝廿式分

一屋敷五反廿五分

一上畑九反五畝三分

長右衛門

同人

同人

同人

同人

次郎左衛門

同人

同人

同人

次郎右衛門

同人

同人

同人

主計

同人

同人

同人

源左衛門

一中畑耆反耆畝貳拾分 同人
 中畑耆反分入
 一下畑貳反六畝拾六分 同人
 一屋敷八畝三分 同人
 一上畑三反三畝貳拾五分 新左衛門
 一中畑六反九畝三分 同人
 一下畑五反貳拾六分 同人
 一屋敷五畝拾四分 同人
 一上畑四反五畝拾八分 内匠
 一中畑貳反三畝八分 同人
 一下畑七反六畝拾壹分 同人
 一屋敷八畝分 同人
 上畑五畝廿五歩 金剛寺
 新畑耆反歩 同寺
 上田九畝貳歩 同寺
 新田廿七歩 同寺
 五町六反六畝貳歩 角左衛門
 一上畑四反八畝拾分 同人
 一中畑六反九畝拾貳分 同人
 中畑三畝拾壹分入 同人
 一下畑耆町七反貳畝八歩 同人
 一屋敷四畝拾分 同人
 上畑合四町耆反六畝八分
 中畑合六町四反七畝貳分
 下畑合四町七反六畝廿七分
 屋敷合六反貳拾三分 太郎左衛門
 一上畑貳反四畝貳拾三分 同人
 一中畑八反貳畝五分 同人
 一下畑耆町貳反廿六分 同人

一屋敷六畝貳拾分 同人
 一上畑四反四畝拾壹分 仁右衛門
 一中畑貳反耆畝三分 同人
 一下畑耆町五反五畝拾七分 同人
 一屋敷八畝拾貳分 同人
 一上畑貳反八畝拾分 作右衛門
 一中畑九反貳畝五分 同人
 一下畑耆町耆反八分 同人
 一屋敷六畝拾貳分 同人
 一上畑三反四畝拾三分 内蔵助
 一中畑耆町貳反廿四分 同人
 一下畑三反九畝三分 同人
 一屋敷八畝拾貳分 同人
 一上畑三反貳畝六分 七郎左衛門
 一中畑六反八畝廿貳分 同人
 中畑耆反耆畝六分入 同人
 一下畑九反九畝拾七分 同人
 一屋敷四畝貳拾四分 同人
 一上畑五反六畝分 新蔵
 一中畑四反三畝拾五歩 同人
 一下畑九反拾壹分 同人
 一屋敷四畝貳拾四分 同人
 一上畑耆反六畝廿四分 三郎右衛門
 一中畑五反貳畝四歩 同人
 一下畑耆町貳反三畝四歩 同人
 一屋敷七畝六分 同人
 上畑合貳町八反五畝七歩
 中畑合五町六反四畝拾七分
 下畑合九町耆反耆畝八分

屋敷合五反七畝歩

十二月四日寄 石代

一金貳分 政五郎

五百六拾文

ふかうど

一上田壹反貳畝拾五分

一下田貳畝分

一中田八畝拾五分

一下田三畝貳拾分

一上田壹反五畝拾三分

一上田壹反壹分

かぬま

一中田九畝分

一上田壹反四畝拾五分

一上田壹反壹畝拾四分

一中田壹反貳拾分

一中田貳反七畝拾六分

一中田六畝貳拾分

一中田壹反七畝壹分

一中田壹反三畝廿四分

一下田三畝貳拾四分

しづや

一上田九畝貳分

一上田四畝拾三分

一上田九畝貳拾九分

一中田九畝分

一上田七畝貳分

一上田貳畝拾壹分

一上田六畝分

一中田貳畝拾貳分

一上田壹反六分

一上田壹反四畝分

一上田七畝貳分

一上田七畝拾貳分

一上田四畝拾八分

一上田四畝貳拾壹分

一上田壹反壹畝六分

一上田壹反壹畝拾五分

一上田三畝拾分

一上田貳畝拾分

一下田貳拾貳分

一下田五畝貳拾六分

一下田六畝貳拾三分

一下田七畝貳拾壹分

一中田六畝貳拾七分

どぶ

一下田五畝拾九分

一下田六畝貳拾分

一下田七畝貳拾四分

一下田六畝貳拾六分

一下田六畝貳拾四分

一下田六畝拾分

一下田七畝壹分

一下田五畝貳拾六分

一下田五畝分

同人

次郎右衛門

外紀

長右衛門

次郎右衛門

修理

長右衛門

修理

半右衛門

半右衛門

修理

主計

同人

久右衛門

長右衛門

四郎兵衛

三郎右衛門

小左衛門

どぶ

作右衛門

三郎右衛門

作右衛門

久右衛門

内藏助

七郎左衛門

九右衛門

宗左衛門

新三

惣兵衛

一下田耆反七畝廿五分 仁右衛門
 一下田耆反九畝廿八分 三郎右衛門
 一下田耆反九畝貳拾分 作右衛門
 一下田耆反八畝分 久右衛門
 一下田耆反九畝三分 内藏助
 一下田耆反七畝五分 九右衛門
 一下田耆反六畝分 宗左衛門
 新三
 宗兵衛
 仁右衛門
 七郎左衛門

一下田耆反三畝六部 七郎左衛門
 ひらき
 一下田四畝貳拾四部 同人
 ま□□

一上田四畝貳拾分 久右衛門
 一上田耆反耆廿七分 九右衛門
 一上田耆反貳畝拾七部 三郎右衛門
 一上田四畝拾六分 内藏助
 一上田四畝三分 作右衛門
 一中田五畝貳部 惣兵衛
 一中田三畝廿八部 同人
 一下田拾八部 七郎左衛門
 ひらき
 一下田四畝拾部 源七郎

上田合貳町耆反七畝貳分
 中田合耆町貳反七畝分
 下田合貳町三反耆分
 ひらき
 下田合九畝四分

惣田合五町八反三畝七分也
 ひらき
 一畑貳反七畝貳部 市郎右衛門
 ひらき
 一同三畝六分 小左衛門
 ひらき
 一同三反七畝廿七部 七左衛門
 開キ合六反八畝五分本村分

●宝永三年 質物二相渡申田畑家屋敷之事 (戸田家文書 No. 218)
 質物二相渡申田畑家屋敷之事

一上田耆反耆畝廿七步 一下田貳反六畝四步
 一上畠四反八畝拾步 一中畠七反貳畝廿三步
 一下畠耆町七反貳畝貳步 一新畠四畝廿六步
 一屋敷四畝拾步

惣田畑屋敷合三町四反六步御水帳之面九右衛門分
 右是ハ蓮々詰諸事弘方不罷成候ニ付我等代々持来候田地屋敷合三町四反六步□□境
 木名主役名共ニ不残貴殿江質物相渡金子三百八拾兩借申所美正也年季之義ハ成ノ
 十二月より子ノ十二月迄中年式年季ニ相定申候右之田地我等代々持来其上横合質
 物之書入ニも不仕候上ハ何方より茂構申者無御座候万一右之田地ニ付以後何如様
 之六ヶ敷儀出来候共地主加判之者何方様迄も罷出申訳仕貴殿江少しも御苦勞掛申
 間敷候右之田地ニ掛来候御 公儀様御年貢名主御役儀貴殿方ニ而御勤可被成候相
 定之通年季明子ノ十二月中右之本金三百八拾兩返遣可申候間右之田地家屋敷此証
 文共ニ無相違御返シ可被成候若其時分受返申儀不罷成候ハ、末々貴殿之田地ニ罷
 成候共又ハ何方江質物ニ御渡被成候共地主ハ不及申ニ親類縁者村中之者ニ至迄少
 茂違乱申間敷候勿論当戌ノ年迄之御年貢米を少も無御座候自然向後御繩入皆之節

八御水帳面八貴殿之名前二御付可被成候為後日之加判之証文入置申候仍而如件
宝永三年戌十二月九日 百間領須賀村新田

地主 九右衛門
証人 平兵衛
同 久兵衛
同 平左衛門
同 源兵衛
同 又兵衛
同 善兵衛
同 惣右衛門
同 三右衛門
組頭
同 伊左衛門
同 甚右衛門
同 半左衛門
同 六兵衛
同 孫右衛門
同 安右衛門
同 弥五左衛門
同 源右衛門
同 伝兵衛
同 七郎左衛門
同 左兵衛
同 次右衛門
同 惣兵衛
同 才兵衛
同 市郎右衛門
同 太右衛門
同 長右衛門

組頭 重兵衛
同 市兵衛
名主
同 安太夫
同 加右衛門
權兵衛殿へ
清右衛門

●享保十年 名主役義御免之願狀二付一札(戸田家文書 No.163)

入置申一札之事

須賀村加右衛門殿病身二付此度名主役義御免之御願被成候処則御免被仰付候依之二本
村前須賀百姓江難儀之有無御 被儀候処指当り返答難仕金剛寺江寄合相談仕然処二百
姓 八六ヶ年以前加右衛門殿名主役義御免之願狀江印形仕候二付此度難儀之否難申
達候此上御上より被仰付次第少茂違 候仕間敷候為其本村前須賀百姓印形入置申候為
後日仍而如件

須賀村組頭 市兵衛
百姓 長二郎
左兵衛
伝兵衛
元勝
新五右衛門
長右衛門
平吉

(後欠)

●享保十年 指上ケ申一札事 (戸田家文書 No. 113)

指上ケ申一札事

一当二月中以口上書奉願候名主相役之義二付此度組頭吉左衛門被御召呼御賜之上證文被仰付候段御尤至極ニ奉存候依之二又々私奉願候ハ光寛二男伴右衛門義右之名主相役ニ被為仰付難有仕合ニ奉存候然共彼是支度等も仕□□□相極メ候而來ル午ノ正月御年始より相勤候様ニ被遊被下候様申上ケ候事
一伴右衛門義相役ニ被仰付候ニ付組頭吉左衛門後見仕様
御了簡之上可被仰渡旨御尤至極ニ奉存候重而異変申上間敷候御事
右之通御吟味上被為仰付候上ハ向後相役伴右衛門義□而引廻シ無□度相勤リ之様ニ可仕候為後日證文如件

百間領須賀村

名主 政右衛門

享保拾乙巳五月廿□日

石井半藏様

柄原尉左衛門様

中野儀右衛門様

高森彦右衛門様

古谷勝右衛門様

●享保十六年 拙寺拙者共取扱目録覚 (戸田家文書 No. 2)

拙寺拙者共取扱目録覚

一此度御組出入之義拙寺拙者共御屋敷様御申下ケ取扱之趣逸々左ニ記申候

一名主役之義本田新田隔年ニ相勤被成御年夏成金秋大豆斗物並ニ宗門帳年番名主ニ而取立上納仕暮皆済勘定之義本田新田別々皆済勘定仕取立迄別段ニ仕御上納之義八年番名主耆人ニ而相納可被下候
一名主江戸遣之義二夜二夜共二七〇文此上逗留仕候ハ、日限を以百姓相談之上上下相給並相増可申候尤道馬送助越ケ谷町迄可仕候然ル上ハ江戸伝馬三百文御免可被下候

一定使役之者本田新田ニ而忒人若シ耆人ニ仕候得者給金式人分ニ可有御座候

一諸勘定ニ付雑用之義百姓相談之上上下相給並ニ被成下候

一組頭江戸遣之義二夜五百文此上逗留仕候ハ、日限を以百姓相談之上上下相給並ニ被成可被下候

一村方割元年番役之節村方より半紙墨代取候ハ、組よりハ半紙墨代取不申候□ニ被成可被下候

一組頭半紙墨代先年之通り相止可被下候

一組頭役札諸割物等年番ニ当リ候年者石高五石御引可被成諸出錢之義ハ御出シ可被下候割合等之節之入用何ニ而茂御掛ケ被成間敷候尤組頭中四人ニ而隔年御勤可被下候

一組頭中役札端石之義ハ老石ニ成候節ハ札老枚御渡シ可被成候只今迄之端石代諸出錢野廻リ年始之過割勘定ハ不勘定被成可被下候

一村入用組入用共ニ勘定之節ハ表百姓立会勘定可被下候

一村入用帳毎年惣連判ニ而御屋敷様江老冊指上ケ名主方江老冊指置候様ニ被成可被下候此義御尤ニ御座候

亥十月

扱人 金剛寺

〃 義左衛門

〃 治左衛門

●寛保二年 取替申證文之事 (戸田家文書 No. 16-1)

取替申證文之事

一其村稻荷社地江真藏院隱居寮相建申筈二而證文取替置候所真藏院隱居右之社地江引越申儀遠慮被致隱寮相止候二付又々證文取替申候然上者稻荷免田立木之儀先規之通其村抱持二而宮修復祭礼等二者年々□行可被成候然上ハ以来此方より少茂申分無御座候為後證仍如件

寬保二年戊二月朔日

龍光院

源次郎

安八

須賀村新田

金剛寺

衆中

長福寺

●寬保二年 取替申證文之事 (戸田家文書 No.16-2)

取替申證文之事

一当所稻荷社地江真藏院隱居寮相建申筈二而證文取替置候所二真藏院隱居右之社地江引越申儀遠慮被致隱寮社地へハ相止申候二付又々證文取替申候然上ハ稻荷免田立木等神事祭礼等先規之通貴寺先達二而相互二執行可仕為後證仍如件

寬保二年戊二月一日

政右衛門

吉左衛門

太兵衛

清右衛門

源二郎

安八

長福寺

金剛寺

龍光院

●延享三年 境杭二付済口證文 (明治大学須賀村文書 No.12)

右之境不埒二付及更二可申上処、午吉長兵衛取扱二而新規二載合て有之繪図之通境杭壹所印双方候時合之上内済申候二付双方江繪図取替申候二内済仕候処相違無御座候、然上ハ以後出入ケ間敷茂仕間敷候、為後日名主扱人加判仕候処仍如件

延享三年寅十二月

須賀村

願人 久兵衛

扱人 午吉

同 長兵衛

名主 伴右衛門

同村

善六殿

●寬延二年 武州埼玉郡須賀村新田村鑑明細帳 (戸田家文書 No.159)

(表紙)

一 寬延二年

武州埼玉郡須賀村新田村鑑明細帳

巳十一月

ひかへ

┌

小笠原彦九郎様御知行所

本村 池田備中守様 御知行所

永井十左衛門様御知行所

享保十九寅年 遠藤又三郎様 御檢地私領無入合

原田定四郎様

一高四拾五石式斗九升五合

須賀村新田

此反別七町九畝廿四步

此訳け

- 上ノ下田老反七畝九歩 石盛十
- 中田四反五畝拾貳歩 石盛九ツ
- 中ノ下田老町四反三歩 石盛八ツ
- 下田老町四反五畝拾八歩 石盛七ツ
- 下ノ下田老町貳反四七拾八歩 石盛六ツ
- 見付田老町老反三七三歩 石盛五ツ
- 見付田老町貳反三七廿老歩 石盛四ツ
- 右ハ当新田之義窪地故御願仕五歩通り掘上田二仕候
- 一見取場 無御座候
- 一砂利場四反九歩 野錢場
- 一 御伝馬宿入用
- 一 六尺給米
- 一 御藏前入用
- 一 但シ平均
- 一 当新田 東西長三百三拾貳間
- 南北横六拾九間
- 一村添新田故家老軒茂無御座候
- 一人別男女牛馬一切無御座候
- 一僧道心造酒屋無御座候
- 一御水帳老冊名主政右衛門所持仕候
- 一名主給無御座候
- 一組頭給無御座候
- 一定夫給老貫五百文
- 是八年々百姓高割二而払御申候
- 一御用二付名主江戸へ罷出候雜用小遣之義七百文二相極申候其外所々江御用二而罷越
- 候小遣共二惣百姓高割を以払御申候
- 一医師 無御座候
- 一越石高 無御座候
- 一升料 無御座候

- 一家大工 無御座候
- 一船大工 無御座候
- 一桶大工 無御座候
- 一屋根葺 無御座候
- 一紺屋 無御座候
- 一寺 無御座候
- 一当村渡シ船場 無御座候
- 一役銀船 無御座候
- 一御朱印寺社 無御座候
- 一百姓御年貢地寺 無御座候
- 一除地寺 無御座候
- 一除地寺社反別 無御座候
- 一除地馬捨場 無御座候
- 一稲干場 無御座候
- 一御年貢米河岸出シ
- 是ハ前々より当村より権現堂河岸江式里半所出し船積仕江戸浅草御藏前江積廻シ御
- 藏納仕候但シ川路共四里有之尤御運賃貳分四厘被下候
- 一当新田通り土橋長五間 式ヶ所
- 横志間
- 是ハ御新田通橋享保十三申年河原井沼新田悪水落堀新堀相当リ候二付井沢弥惣兵衛
- 様御懸リ二而材木諸色人足共二御入用を以御普請被成下候其以後修覆等自普請二
- 仕候
- 一 塚樋
- 一懸ヶ渡井 無御座候
- 一関柵
- 一当村新田
- 右ハ前々より窪地二御座候二付掘上ヶ田二御願申上候而五歩通り之掘上ヶ田二被仰
- 付依之二用水引不申候
- 一笠原沼新田囲堤長千四拾間

是ハ河原井沼新田悪水落除堤年々浪欠又ハ押切所出来仕候節ハ御入用を以御普請被成下候尤少破之節ハ新田組合九ヶ村ニ而人足割合自普請ニ仕候

一用水堀無御座候

一悪水落堀千五百拾式間但シ笠原沼新田落口より大落堀落口迄

是ハ笠原沼新田悪水落堀床八尺中程より下床九尺之所砂地故連々欠崩只今ニ至リ下床三四尺ニ罷成悪水落兼年々水損仕候

一悪水落堀御新田内中堀長八百三拾間余

是ハ笠原沼御新田組合九ヶ村ニ而人足割合仕年々浚藻刈仕候

一質田畑

是ハ当新田之義ハ質物ニ書入候義ハ無御座候併永質物ニ者上中下田共ニ壹反歩ニ付金子壹匁位之質物ニ書入金子借用仕候義も御座候

一御林 無御座候

一溜井池沼 無御座候

一百姓林 無御座候

一荏大豆餅米納 無御座候

一狛船 無御座候

一御預鉄炮 無御座候

一魚鳥獵師 無御座候

一浪人者 無御座候

一切支丹類族 無御座候

一神子山伏 無御座候

一行人 無御座候

右之通当村新田諸色御改ニ付吟味仕書上ケ申候所少茂相違無御座候依之名主百姓代連判指上申候仍而如件

寛延二年巳十一月

埼玉郡須か村新田

名主 政右衛門
同 浅右衛門
百姓代 平左衛門
同 友右衛門

高階伝治郎様
御役所

同 吉兵衛

●寛延二年 年禮之儀無用願ニ付口上 (戸田家文書 No. 124)

口上

一四ヶ寺一統ニ申入候当暮世上殊外困窮ニ付村方惣且中より年禮之儀包錢等一向無用ニ願申事候右之段村方江御触聞セ被下候ハ、寺院之方も且被紙ニ而茂口義ヶ間敷儀相止メ可申候と存四給御役人衆願書被差出申候以上

寛延式巳十二月十五日 須賀村

龍光院
長福寺
金剛寺
真藏院
四給
御役人衆中

●宝曆十二年 欠落仕候女子之儀ニ付一札 (戸田家文書 No. 14)

乍恐以書付御訴奉申上候

一須賀新田村伊兵衛申上候義ハ私儀身上不如意ニ付娘いちと申女子去暮須か村龍光院所江老季奉公ニ指置相勤させ罷在候処ニ須か村之内小笠原彦九郎様御知行所百姓久八弟喜右衛門と申者と申合五月中欠落仕候ニ付親伊兵衛並親類共尋出シ取返シ申候処ニ又々此度右喜右衛門と申合欠落仕候女子之儀ニ御座候而親を捨置欠落仕候不屈者ニ御座候ニ付末々如何様成義仕出し可申哉難斗奉存候間乍恐以口上書御

訴奉申上候以上

宝曆十一年巳六月

須か新田村

親 伊兵衛

組頭 友右衛門

同 吉左衛門

名主 政右衛門

中田伊右衛門様

内藤定右衛門様

●明和七年 組頭役儀退役二付一札 (戸田家文書 No.59)

乍恐以書付奉申上候

一御知行所須か村新田組頭友右衛門奉申上候私同役佐右衛門義身上悉不如意二付難取
続難儀致候間私並惣百姓共ハ□□身上相応之助合相願呉候様ニ申之並組頭役義相
勤兼候間退致旨申候尔付私百姓共江及相談候者佐右衛門事数年來役儀無滞相勤
来り候間惣百姓中身上ニ請ひ身分相応之助合致遣佐右衛門身上為取続度段申候所
百姓中大方得心ニ御座候然ル上ハ組頭跡役之儀ハ高持ニも御座候間武右衛門方へ
為拾俵之様ニ可致旨依之ニ武右衛門方へ相談候者其元高持ニも候間金子式両佐右
衛門方へ用立可致並組頭跡役之義相勤可請旨及相談ニ候処右助合金之義曾而承引
不仕組頭跡役之義病身ニ付猶以相勤不申候之申之達而辞退致候処此度私並百姓共
方へも右訳合も不聞申御屋敷様へ罷出組頭役蒙仰候段名主政右衛門方より式右衛
門組頭役之義被仰付候旨惣百姓江申聞候義難心得奉存候名主政右衛門一存を以武
右衛門組頭役之儀御願申上候訳ケニ候哉佐右衛門退役も無之処跡役御願申上候儀
ニ御座候哉何共難心得奉存候間御吟味奉願上候村方ニ而ハ何分出入立不申村内相
涉り候□□度右ニ申上候通取斗申候処ニ武右衛門並名主政右衛門上句之存寄も有
之村内為及騒動ニ候哉此節御指紙頂戴仕驚入奉存候此上何分村方相涉り候様ニ偏
ニ御仁恵之御吟味奉願上候事

一宗門帳へ印形□□訳ケ組頭佐右衛門弟治平義前々より私共組合ニ而百姓ニ御座候処
ニ 殿様御知行所之人別ニ相附来り候然処去巳年より私組合相除御相給池田帯刀
様宗門人別帳相載此方組合相除申候此段ハ治平親吉左衛門義剃髮仕帯刀様領分
之地所ニ庵有之候右庵主ニ相成候右之処老年ニ付見届旁ニ治平罷仕申ニ付其意味を
ハ相附候義とハ奉存候得共全躰治平儀 殿様御知行所ニ屋敷田畑所持仕罷有百姓
ニ御座候処ニ御屋敷様江御窺候迄右躰取斗候義ニ御座候哉私杯江ハ一切不申聞名
主一存を以御相給之宗門人別帳へ可相載倡無之様ニ乍恐奉存右之訳ケ相仰付之内
印形差控申候義ニ而□□相滞候筋ニハ無御座候此上作右衛門治平名主政右衛門熟談
上先規之通り治平義私共組合ニ相成宗門人別帳へ相載候義ニ御座候ハハ私方ニ而
印形相滞筋無御座候事右ハ此度御尋之義有之由ニ而御差紙頂戴罷出候ニ付名主方
より訴上候願書等御座候ハハ御下ケ被成下度右訴書之趣を以御答申上度旨奉願候
処何連ニも願筋有之者以書付可申上名主訴上候書面ハ難被下旨被仰渡候ニ付無拋
存凶始末有増奉申上候何分此迄出入立不申村方相涉り惣百姓一同相続相成候様ニ
被成下候ハハ難有奉存候此外御尋之義ハ乍恐以口上を可申上候以上

百間領須賀村新田

明和七年寅三月

組頭 友右衛門

永井美濃守様

御役人衆中様

●明和七年 組頭役儀退役二付口上 (戸田家文書 No.141)

(前欠)

一御知行所須か村新田組頭友右衛門並百姓惣代茂右衛門四郎右衛門奉申上候名主政右
衛門方より私共相懸リ組頭作右衛門身上不如意ニ付退役御願申上跡役百姓武右衛
門へ御願申上願之通り被仰付候間去ル二月廿九日其趣申渡候御書付拜見為致其
旨友右衛門始惣百姓共相違も無之所三月十日宗門印形之各ニ至リ右斯組頭武右衛
門印形記しニ付組頭式人ニ而ハ印形相成間敷立申之殿様御威光とも□□化大勢徒党

と仕武右衛門を相操候旨其外早々申立出訴仕候二付今般私共被召出之乍恐返答書を以奉申上候

一右作右衛門義不如意二付組頭役相勤一退役御願申上段相違無御座跡役之義武右衛門方へ相願候様二而友右衛門始百姓共相談相決御願可申上旨武右衛門へ申談候処病身二付御役中々難相勤段申之及勝手二候勿論其上江武右衛門方より私共方へ申聞候者古来より小高之新田村之儀者組頭老人二而相勤来り候間以来組頭老人二可相願与私共方へ申聞百姓一同仕御心之筋二而既二御願をも可申上致被有候内曾々致書出来仕候哉兼而八自分より右之旨申出置其後名主政右衛門江馴合者勿論惣百姓へも一向無沙汰二而右作右衛門跡儀友右衛門御願申上候段甚難□□奉存候右躰百姓中□申合候義と違変仕候而八向後共二村方不べにも相成不申其時々出入立し而八村内困窮之基二相成甚迷惑至極二奉存候又何分武右衛門被召出御吟味奉願上候が事

一宗門人別印形之儀三月十日伊平治方より相触候□被致候私共印形指扣御訳ケ作右衛門弟治平儀去丑年御相給池田帶刀様御分之宗門帳へ名主政右衛門相載置之段私共方二而曾而致不申候処当正月中同人田地讓渡二付組頭之弟故印形致呉□□趣二相願来り候二付罷致候処其節治平申聞候へ先達而所持之印形ハ紛失致候得共帶刀様方宗門帳へ致し印形有之旨申之差出申候二付治平儀帶刀様方宗門帳へ相載候段初而承知仕驚入当宗門之節前々の通り殿様宗門帳へ相載可申段相談致懸置候故義二付右相談相調候内ハ一三日目延致呉候様伊平治申段承知仕右作右衛門弟治平親吉左衛門義剃髮仕天尚と申候御相給池田帶刀様御知行所真藏院隱居房有之候処右隱居江戸表ハ此致候二付内相談之上罷殘居候得共隱居被帰リ候上者治平方天尚も可相備筋と奉存候其上治平宗門人別之義御相給帶刀様方御帳面相記殿様御知行所二屋敷田畑所持仕罷有候得ハ杉戸宿助郷人足等二も私共組合之義故罷出申義御座候御門主様御通行之節も御役二罷出候義二御座候処万一御役先少々何様之變有之も難斗其節ハ此方組二難儀相懸リ候義御座候二付当宗門よりハ殿様御知行所宗門帳へ如先規之相載可申段当正月中より名主政右衛門江も申段承知仕候処二同十二日再度合之節茂罷殘帳面一□仕候処右治平儀帳面二相見不申候其迄寺院方武右衛門其外政右衛門□□印形可仕□申聞候二付一旦印形指扣申候義作右衛門治平方二而殿様宗門帳印形仕候儀不□之筋二相聞候得者向後治平所持地候処所へ□懸

リ候御□役等二付何様之違変出来仕候哉拙者共方へ難儀相懸ケ治平方二而埒明申儀二御座候ハ、私共押而申存□無御座二付作右衛門治平方相談も相調不申候間私共印形可仕旨政右衛門申談候処最早段々印形及迄申候事二付此方二而ハ印形取申□□申之御屋敷様へ罷上此節私共被取出候義二御座候右躰之義二御座候名主政右衛門□□仕候得も村方二而相濟殿様へ御苦勞も不奉懸候參リ御座候処名主役□□右躰取斗候段名主問屋□□奉存候□□奉御吟味奉願上候□□右出入之節四郎右衛門忠助と友右衛門□□他茂右衛門外□□二相返シ候段申上候得共此段全偽二御座候

一当正月中名主政右衛門私共申聞候者年来役義相勤候処及を年二も候間以来御屋敷様へ御願申上向後何二而も諸御用共倅伊平治可指出申段申之候処此度□杯之存□□以政右衛門罷出早々申上御屋敷様へも奉懸御苦勞其上村内被召出此節江戸詰仕困窮之新田村之儀をも不□出入為立候義甚以迷惑至極仕候右躰之取斗二而向後百姓□□助可申□無御座候且又政右衛門義別宅仕罷有名主役相勤候得共百石内之村方二名主式人同前二而万端二付百姓難儀仕其上諸御用共二兩人二而相熟候而八万事□□二成義斗出来仕百姓困窮之基二相成候間自今以後兩人之内老人二而名主役相勤候様二被仰付候様二奉願上候事

前条之趣少茂偽無御座候御慈悲を以双方御吟味之上以来村方相始リ御百姓相続相成候様二被仰付被下置候ハ、百姓御救と難有奉存候此度御□之上口上を以可申上候事

明和七年寅四月

茂右衛門

四郎右衛門

友右衛門

永井美濃守様

御役人衆中様

●明和九年 村方御代官並地頭姓名所持役名等書拔(戸田家文書 No.78)

(前部 欠)

御書院番御組頭 同国同郡同領

一 小笠原彦九郎知行所 須賀村

是者江戸御屋敷飯田町 丈助

源治郎

弥五兵衛

御役御書院御番頭 同国同郡同領

一 永井美濃守知行所 須賀村

是ハ江戸御屋敷糞町元山王 名主 政右衛門

与頭 友右衛門

百姓代 四郎右衛門

小普請入 同国同郡同領

一 池田鉞之助知行所 須賀村

是者江戸御屋敷菓嶋 名主 浅右衛門

与頭 与五右衛門

百姓代 長兵衛

一 御朱印地 当村ニ無御座候

右者私共村方御代官並地頭姓名所持役名国郡領持共書面之通り少茂相違無御座候

明和九辰年二月 武蔵国埼玉郡百間領須か村

名主 伴右衛門

与頭 佐兵衛

百姓代 甚右衛門

名主 与五右衛門

与頭 武右衛門

百姓代 甚左衛門

名主 丈助

名主 丈助

名主 丈助

名主 政右衛門

与頭 友右衛門

百姓代 四郎右衛門

名主 浅右衛門

与頭 与五右衛門

百姓代 長兵衛

葛堀五兵衛様

● 明和九年 儀定證文之事 (戸田家文書 No.135)

儀定證文之事

一 御知行所百間領須賀村新田名主政右衛門方より組下惣百姓方へ宗門人別之印形延引
二 付御地頭永井美濃守様江訴上御召状相附候所ニ麦作仕付殊ニ御新田御城米御急
ニ付甚難儀之趣申上百性惣代として茂右衛門相頼候所御聞濟之上当十月廿五日迄
二日延被仰付難有奉存候然処ニ同村甚左衛門並杉戸宿善左衛門右村方日頃心安致
出入之儀気毒ニ存候而十一月十日迄善左衛門を以又々御地頭永井美濃守様へ相願
候所ニ願之通日延被仰付難有奉存候然上ハ双方へ達而異見仕候所ニ内濟之段御承
知被下置奉存候右取扱品左ニ申上候
一 前々より御年貢御取箇之儀ハ先規より村役人立会之上諸勘定任来帳面を以是迄致来
候得共少々百姓小前ニ過不足相見へ申候間此度立会勘定致田畑米永指引仕返濟致
候上ハ右一件ニ付相互ニ重而出入ケ間敷義無之候然上者御水帳立会之上得与相改
百姓銘々小前分ケ相渡申答ニ相極候事
一 当辰年立会改候帳面相用古キ書物用イ不申候様ニ相極申候潰地野帳面を以相改潰地
畝歩合等致相違無之様ニ可仕候事
一 治兵衛儀先達而ハ濟口之通殿様宗門帳ニ相附候上ハ印形延引之義も印形致申候答ニ
相極候事

一諸出錢是迄去ル寅年より卯辰三ヶ年之内出錢帳面三冊延引致候分此度和談内濟仕候上者名主方ニ有之候帳面出候而能分ハ割合致出し可申候百性方ニ而不得心之分ハ抜申筈ニ相極候事

一諸出錢勘定之義者組頭方ニ而百性代老人立会割出し候而百性差番ニ而名主御方へ定目之通持參可致候尤急御入用之節ハ差番ニ而相働差出可申候事

一江戸出府之儀前々通り雜用小遣共錢六百文ニ而往来可致候尤無據御用之義ハ名主出府可仕候可相成儀ハ組頭出府可致候猶又勝手入口ニ而御用之筋ニ依而百性參候□□之入用を以相勤可申候筈ニ相極申候事

一御割付並萬年帳差出御年貢諸勘定可仕候事
一名主出府之砌ハ送り馬不差出候濟口ニ有之候得共御世人之儀ニ付年始之御札並皆濟之時節ハ行步老人送馬共ニ差出候筈ニ相定候事

一友右衛門組頭役之儀ハ先達而濟口ニ控伝右衛門相勤候筈ニ極置候所ニ此度和談内濟仕候上ハ何ニ而も相勤候共勝手次第第二勤候筈ニ相極候事
右之通り此度双方一同熟談納得之上治定任其外何ニ而も和融之上議定仕候得者向後双方共不依何事ニ睦間敷仕村方相治候様ニ可仕旨ニ而一件申分無御座候内濟仕候偏ニ御威光を以出入相濟難有仕合ニ奉存候然上ハ以来右一件ニ付重而御願ケ間敷儀曾而申上間敷候依之為後証連印濟口証文差上申候所以而如件

百間領須賀村新田

明和九年

辰ノ十一月

名主 政右衛門
組頭 友右衛門
同 武右衛門
百性 四郎右衛門
同 権兵衛
同 新右衛門
同 茂右衛門
同 伊兵衛
同 忠助
同 佐右衛門
同 友八

永井美濃守様

御役人衆中様

同 久右衛門
同 善兵衛
同 兵右衛門
同 伝七
同 善右衛門
同 彦七
同 甚左衛門
同 善左衛門
同 杉戸町
同 取扱人
同 村方

●寛政三年 年貢割付状 (石橋家文書 No.12)

前部 欠

四反四步宝曆五亥より屋敷二成
此取永三百拾式文反百五拾五文取
残八町式反四畝廿步
此取永八貫六百五拾八文三分反百五文取
中畑八町九反六畝拾五步
老反三畝五步井堀二成
八畝四步宝曆五亥より屋敷二成
此取永百式拾六文反百五拾五文取
残八町七反五畝六步
此取永七貫四百三拾九文式分反八拾五文取
下畑拾町式反七畝四步
四畝五步宝曆五亥より屋敷二成
此取永六拾四文五分反百五拾五文取

残拾町式反式畝廿九歩

此取永七貫六百七拾式文式分反七拾五文取

屋敷老町式反老畝拾歩

此取永老貫八百八拾三文反百五拾五文取

下々田五畝六歩反四斗式升取

下々畑八反六畝老歩室永八已ノ新畑

此取永四百三拾文反五拾文取

下々畑四畝廿式歩元禄二已ノ新畑

此取永拾式文反式拾五文取

米合拾四石式斗八合

永合式拾六貫五百九拾七文式分

右之通大小之百姓立合致割合来ル霜月晦日以前急度可為皆済者也

内藤貞右衛門

中野甚右衛門

寛政三辛亥年八月

飯田弘人

野口治右衛門

須賀村本田

名主

組頭

惣百姓

●文政三年 質地証文 (戸田家文書 No.226)

質物二相渡シ申田地之事

一中ノ下田五畝拾九歩

所ハ沼田耕地

一下下田式畝式拾八歩半

同処

一見付田三畝廿七歩半

同処

田合老反式畝拾五歩当地主佐平治持来リ候分

右之田地ハ懸金式兩式分借貴殿江質物二相渡シ申候処実正二御座候年季之儀ハ当辰

極月より午ノ極月迄申年季二相定申候

一御公儀様御年貢諸役入目之儀ハ貴殿方ニテ御勤作徳御取可成候年季明キ右之本金式

兩式分返遣仕候ハ、田地此証文共相違なく御戻シ可被成候若其節請兼申候ハ、流

申候間貴殿御所持被成候とも又ハ何方江如何様質物二御入被成候共我等不及申親

類縁者組合至迄少茂構無御座候若脇より何角六ケ敷申者御座候ハ、我等加印之

の何方迄も罷出申訳ケ仕貴殿江御苦勞掛申間敷候向後御檢地入替申候ハ、貴殿名

前二御附可成候為後日質物証文仍而如件

須賀村新田

文政三庚辰年

当地主 佐平治

十二月

組合 繁藏

同 久左衛門

組頭 治右衛門

名主 与五右衛門

権兵衛殿

●文政五年 讓申田畑証文 (戸田家文書 No.194)

讓申田畑証文之事

一田五畝歩

所者沼田

一田七畝歩

同見取

一田八畝歩

堤外

是ハ組分

久米原村分

一上田四畝七歩

処者丸田耕地

(表紙)

「 差上申一札

武蔵国埼玉郡

須賀村

」

武蔵国埼玉郡

須賀村

一高九百八石六斗五升五合

内

高七拾七石八斗四升貳合

山田茂左衛門支配所

高貳百貳拾三石七斗壹升六合三夕

小笠原主斗知行所

永井鉄弥知行所

高三百石

池田甲斐守知行所

龍光院屋敷地

一御除地三反歩

別当

一御除地五畝歩

龍光院

一御除地三反五畝歩

同

身代大明神

但シ

御朱印御除地入会等無御座候

前書之通り

右書面之通相違無御座候以上

聖護院宮御末

幸手不動院御段下

武州埼玉郡須賀村

龍光院

同

一下々田壹畝四歩半

同断

一畑成貳畝六歩半

同断

同

一下々畑壹畝貳拾四歩

処者已新畑

同

一畑成貳拾九歩

同

一下々畑壹畝拾九歩

所者砂塚

同断

一下々畑壹畝歩

同断

一下畑六畝貳拾貳歩

処者清水上

一畑壹反壹畝三歩

処者一ノ割

右之田畑慥二俣勇次郎方江譲リ呉申所実正二御座候然上者

一御 公儀様御年貢諸役入目等之儀者地主方二三而相勤作徳御取可出候此田畑二付親類

縁者組中至迄少も構申者無御座候若脇より六ヶ敷申もの御座候ハ、我等加判之も

の何方迄も罷出申訳ヶ仕地主方江御苦露相掛申間敷候為後日譲リ証文仍而如件

文政五年

須賀村新田

親 権兵衛

兄 吉兵衛

親類 善蔵

同 庄次郎

同 組合惣代喜右衛門

同 組頭 治右衛門

同 兵助

●天保三年 御朱印御除地等二付一札 (加藤家文書 No.1)

倅 勇次郎方江

同州同郡和戸村

天保三年

隣寺

辰ノ四月

文珠院

御勘定所

同村

名主 浅右衛門

伴右衛門殿

●安政五年 質地証文(石橋家文書 No.74)

質地相渡申証文之事

一中畑田成老畝拾貳歩

所者宿浦耕地

此見面三畝歩

御水帳之面等地主源七持来り候分

右之畑田成ニを金壹両三分借り貴殿江質地入置申処美正ニ御座候但し年季之儀者当年ノ十一月より来ル西ノ十一月迄中三ヶ年ノ季ニ相定申候然ル上者

御公儀様御年貢諸役入目等之儀者貴殿方ニ而御勤作徳御取可被成候此田成畑ニ付少茂構無之若脇より何角六ヶ敷申もの有之候ハ、我等加判之者何方迄茂罷出申開仕貴殿江御苦勞聊相懸ケ申間敷候年季明西ノ十一月中右之者金壹両三分返済致し候ハ、畑此証文共ニ無相違御返被成候若も諸兼申候ハ、流し可申候間貴殿御所持被成候共又者如何様被成候共我等者不及申親類組合ニ至迄毛頭違乱申間敷候向後御纏入替申し候ハ、貴殿名所ニ御附可被成候為後日質地証文入置申候所依而如件

安政五年十一月

百間須賀村新田

地主

源七事 三治郎

組合 半兵衛

同 佐右衛門

同 留五郎

組頭 善治郎

年番

●慶應三年 人別送り一札之事(渡辺家文書 No.990)

人別送り一札之事

一我等配下百姓安五郎子宇之助義当卯拾三才ニ罷成候処組合弥五兵衛殿世話ヲ以其組内御組頭善次郎殿方へ養子ニ差遣申候処相違無御座候然ル上ハ右安五郎宗旨人別相除候間以来其組宗門人別江御書加へ可成下候為後日人別送り一札差出申処如件

小笠原鎧太郎

知行所須賀村

名主

多平治

慶應三丁卯年二月

池田大隅守様

御知行所

同村

御名主中

●年未詳 覚(戸田家文書 No.187)

覚

須賀本田

新田

米三俵

四斗壹升入

此石壹石式斗三升

両巻石三斗巻升[㊦]

代金三分下銀拾巻匁三分三厘

此錢五百八拾六文

巻匁五拾五遣

●年未詳 覚 (戸田家文書 No.188)

覚 須賀本田

新田

一文金拾四両式分

四月

巳正月

●年未詳 覚 (戸田家文書 No.179)

覚

一永巻貫百六拾九文九分

内 須賀村

永三百八文式分

小笠原彦九郎様

此金巻分式百六拾式文

永式百七拾式文六分中分

永井美濃守様

此金巻分百式文

永四百廿九文七分

池田帯刀様

此金巻分八百九文

永百五拾六文三分新田分

永井様

此錢七百三文

一永五拾九文九分

須賀村百姓出金

此わり百石二付

永七文七リ四毛四巻

一永拾五文六分

上之組

此錢七拾文

一永拾三文五分

中ノ組

此錢六拾巻文

一永式拾巻文八分

下之組

此錢百式文

一永八文式分

沼端組

此錢三拾七文

組毎二四貫五拾文同人

右ハ黒沼等原沼代用水路除堀村地内坑樋関粹御伏替当番御普請被成に書面之通御入用被仰付候割 申候当月廿日二相納候様ニ被仰付候間近日相納申候間一兩日之内ニ被遣可被下候以上

九月廿三日

政右衛門

丈助様

伴右衛門様

浅右衛門様

此書付留りより早々御返可被下候以上

●年未詳 覚 (明治大学須賀村文書 No.1)

覚

金□兩也

右者辰高人同新田御檢見願其外内見帳上ケ出縣諸入用之内書面之通慥ニ預リ申候為念如斯御座候以上

須賀村新田

浅右衛門

午九月十九日

本田

御役人衆中

●年未詳 養子証文 (石橋家文書 No. 126)

養子証文之事

一貴殿養子久藏儀当村清吉及仲人二而我等養子ともらひ請候処実正也然ル上者我等所持之田畑之内屋敷並野田畑共合而老町拾貳分引分ケ相譲り追而別家為致候対談ニ相定候処相違無之候且又久藏持參之趣畑何反步被送遣慥ニ致税納候向後我等致所持御年貢諸役相勤久藏別家致候砌是又相譲可申候
年号月日 百間領須賀村

親 忠庵

親類 庄右衛門

仲人 清吉

役人

同村

文吾殿

讓渡申候田畑之事

中之組分

一屋敷畑 老反四畝十式步

一上畑五畝步

一上田九畝步

上之組分

一下畑四畝廿三歩

一同六畝十歩

一同老反式畝步

一中畑七畝七歩

一同七畝廿二歩

一上畑八畝十式歩

下之組分

一上田老反式畝拾四歩

新田組分

一上田老反三畝式歩

屋敷並野田畑合老町拾貳歩

右之通久藏儀別家致候節ハ無相違引分ケ相譲り可申候以上

所ハ下出口

所ハ加沼

明神裏

砂河原

所ハ深戸

所ハ深戸

同村

文吾殿

須賀村

●明治二年 三給分年番御用村用共相勤候義ニ付示談一札 (渡辺家文書 No. 706)

乍恐以書付奉申上候

武州埼玉郡百間須賀村池田大隅上知分小前役人惣代左之もの共奉申上候当村高八百式拾三石余家数百三拾軒有之三給入会ニ候処今般之御趣意ニ付一同及相談候得共素より三組ニ相分□何分打合兼候ニ付先般御伺申上候処三組ニ而名主組頭見立置年番ニ相勤

可然旨御談御座候ニ付、婦村之上夫々及談判候処、永井兼之助義小笠原鍾太郎上知分ハ夫々取極示談相整私共給分之義も一同相談之上是迄相勤候名主伊八、悴丑之助並組頭善太郎義ハ平日貞実之ものニ付「一と見立名主組頭共三給分一同年番ニ御用村用共相勤候様仕度然ル上者村内平穩ニ相治可申義与夫々示談行届候折柄組頭源太郎親淺右衛門義如何被心得候哉同人悴源太郎者組頭名目ニ相附候義者一同役人預リ調印難出来旨申之何様申談候而者更ニ取敢不申左ニ、此此俣捨置候ハ者兼而御伺之上、兩給分役人取極之義も不□□成ニ而已ならつ村内作り方ニ、榎乱捨置候間無人□□□□預リ□□以御慈悲前書淺右衛門江召出一同示談被整候義者自分勝手を以満足不申聞無難ニ、村方相治リ候様と仰付被成下被度奉願上候以上

池田大隅上知分

武州埼玉郡

百間須賀村

小前役人惣代

百姓

与八

名主

惣七

大宮県

御役人所

明治二巳年三月四日

●明治四年 藤五郎召捕ニ付口上書 (渡辺家文書 No.1411)

乍恐以書付奉申上候

第七区武州埼玉郡百間須賀村百姓中村三次郎奉申上候私三男藤右衛門事藤五郎義御召捕ニ相成同人除帳相成御始末其外御尋ニ御座候
此段私義高三斗五舛余所持家内五人暮ニ而農間素麵渡世罷在候処前書藤五郎義不身持ニ而異見差加へ候得共不聞入其上□□之もの共江同意患事有之趣蒙リ候ニ付始末去ル辰年三月中御地頭池田大隅役場江申立除帳相成候処其後藤五郎義兵歩人足

ニ相成居候由蒙リ居候処去ル午ノ七月中実母眼病之由聞およひ候旨ヲ以不斗立戻リ候ニ付心躰見様之上始末可申立心得ニ而私方ニ差置隣村清地村醬油造渡世伊勢屋太右衛門方相頼醬油請受等為致置候様当四月中東京へ立戻リ兵歩相勤候趣ニ而立出候儀之様幸手宿ニおゐて御召捕ニ相成右始末先頃粕壁宿 御出□附ニおゐて御糺受候砌心取違いたし不都合之義申立置候始末尚今般御糺受何共可申立様無御座候奉恐入何卒右不行届之段殿重候 御仁悔之御沙汰偏に奉願上候以上
右御糺ニ付奉申上候通相違無御座候以上

明治四未

九月七日

右村

百姓

中村三次郎

組頭

渡辺物藏

浦和県

御役所

●明治八年 墓居置願並ニ墓所取調書上 (渡辺家文書 No.2936)

寺持有税墓居置願

字金剛寺八番

第六区

埼玉郡百間須賀村

上畑六畝四歩ノ内

一上畑壹畝拾歩

六十七番屋敷

金剛寺持

右寺住職曷川宗圍奉申上候今般永久墓地設定之御布告奉拝承然ル処前書有税地拙寺從來墓所有之右者担中二名程是迄埋葬仕候義候処何分境内手狭ニ而引移候場所無之殆当惑罷在候間何卒書面墓所之義從來之通居置願度別紙函面相添此段奉願上候以上

明治八年第三月

右金剛寺住職

葛川宗園

七十六番地之内薬師坊

内百三十七番地抱玉庵

五番地安養庵坂本善瀬借居罷在候

右取調奉書上候通相違無御座候已上

第六区百間須賀村

戸長不在二付代

副戸長

渡辺重右衛門

明治八年第三月十七日

同

同

渡辺惣七

埼玉県権令白根多助殿

私有地墓居置願

第六区埼玉郡百間須賀村

百番屋敷

平民

墓所取調書上

第六区

埼玉郡百間須賀村

字権現台

三番地

中畑貳畝拾四歩ノ内

一中畑貳拾五歩

祠掌

加藤福泰

字深生戸

五十老番地

但無税地

一反別老反九畝拾八歩

真藏院持境内

右加藤福泰奉申上候今般永久墓地設定之御布告奉拝承然ル処前書有税地ニ先般墓所設立有之神葬祭二付何卒従前之場所へ墓地居置被仰付度別紙図面相添此段奉願上候以上

戸長不在二付代

副戸長

渡辺重右衛門

同

渡辺惣七

同地

同断

一同 貳畝拾八歩

同 持境内

同所

同地

同断

一同 貳拾五歩

同 持境内

字鹿沼

百九番地

但無税地

一同 拾五歩

長福寺持境内

字砂河原

七番地

同

一同 三畝歩

同 持境内

字金剛寺

第六区百間須賀村

一堂

但七十六番地真藏院

境内薬師堂

寺ヶ所

同

三ヶ所

一庵

記

埼玉県権令白根多助殿

十六番地 同

一同 貳畝歩 金剛寺持境内

字同所 同

同地 同 持境内

一同 貳拾歩 同 持境内

前書墓所取調書別紙図面相添奉差上候通相違無御座候已上

右村

明治八年第三月十七日 戸長 中村牧太郎

戸長不在二付代

副戸長 渡辺重右衛門

同 渡辺惣七

埼玉県権令白根多助殿

●明治八年 仙元稻荷東照修覆二付大豆寄進連名帳(渡辺家文書 No.1441)

(表紙)

明治八年九月廿六日 上耕地

仙元

稻荷 修覆二付大豆寄進連名帳

東照

集方

小林仙之丞

渡辺喜造

記

一大豆一斗 渡部惣七 取

一同 八升 間宮多平次 取

一同 八升 渡部重石門 取

代三貫七百貳十文

一同 八升 間宮重五郎 取

代 渡辺藤吉 取

一同 六升 渡辺藤吉 取

一同 七升 小林仙之丞 取

一同 七升 柳勇輔 取

一同 七升 柳勇輔 取

一同 六升 藤城兵左工門 取

一同 七升 石橋喜惣次 取

代三貫貳百五十五文

一同 七升 遠藤清助 取

代

代貳貫三百貳十五文取

一同 五升 福沢友七 取

代壹貫八百六十文取

一同 四升 戸田惣八 取

代

取

遠藤要助

一同 四升 代壹貫四文

一同 三升 渡辺長三郎

代

同 九百三十文

同 貳升 石塚仙二郎

内 壹升代四百六十五文

同 九百三十文

同 貳升 遠藤徳助

同 貳升 渡辺常吉

代 九百三十文

同 貳升 斉藤要吉

代 十銭取

代 九百三十文取

同 貳升 渡辺喜蔵

代

代 壹貫四百文

同 貳升 洪谷久平次郎

取

洪谷新宅

同 貳升

ノ 壹石五升也

十五文

一 六貫五百拾五文 清助様より受取

一 三貫貳百五拾五文 同人より受取

一 壹貫四百文 桑村分より

一 貳貫三百廿五文 同人より受取
仙之丞様より受取

記

一 糯米貳升

渡辺惣七

一 同 壹升五合

間宮太平二

同 壹升五合

同 壹升

同 壹升

同 壹升

同 壹升

同 壹升

同 壹升

一 糯米壹升五合

同 重五良

小林仙之丞

遠藤清助

柳 勇助

石橋喜惣次

福沢友七

渡辺藤吉

同 幸右衛門